

大阪府立千里青雲高等学校 令和元年度 第3回学校運営協議会 報告

- 日 時 令和2年1月24日(金) 15:40~16:55
- 出席者 会長(学識経験者)、副会長(高大連携大学)、保護者代表、
地域住民代表者、その他学校関係団体代表者、事務局(校長、教頭、事務長、
首席、教育部長、教務部長、進路指導部長、生徒指導部長)
- 内 容 1 校長挨拶
2 会長挨拶
3 学校報告
ア) 学校運営協議会への意見書の提出
令和元年10月25日より令和2年1月23日まで なし
イ) 教育部 活動報告(異文化交流・外部連携・その他)、教育相談
ウ) 教務部 令和2年度教育課程・新教育課程検討状況報告
エ) 進路指導部 11期生進路報告・入試制度の変化について
オ) 生徒指導部 生徒指導状況報告(遅刻件数の変化)
カ) 令和元年度学校評価及び令和2年度学校経営計画(案)
キ) 学校教育自己診断結果報告
ク) その他

<質疑応答・意見交換> ○は委員からのコメント ⇒は事務局のコメント

*進路について

- 大学中退者の割合が、一般入試に比べAO入試では約3倍とのことであるが、背景にどのような事情があるのか?
- ⇒ これまでの入試改革により、学力だけではなく意欲・適性など人物を評価するAO入試が導入されたが、早期に進路を決定できるメリットがある反面、目的意識がはっきりしないまま合格した結果、目標を見失ってしまいがちというデメリットもある。大学入試に合格することがゴールではなく、その先どう頑張るかがより重要。長期的な視点で、一般入試までを視野に入れて学習習慣を確立した生徒の方が、より学力や自己肯定感の向上につながるという背景があると考える。このことは常々生徒たちにも伝えており、3年次後半をどのように過ごすかが極めて重要である。
- AO入試や公募制推薦の枠が見直されて減少すると、生徒のモチベーションにも影響するのでは?
- ⇒ 3年になってから慌てるようでは遅い。現状においても各教科指導の中で早期からの学習習慣定着を図っているが、今後もできるだけ早期から動機づけを図りたい。

***学校経営計画及び学校評価について**

○ 次年度の学校経営計画においても、「英語資格試験、漢字検定などの資格取得を積極的に推進する」ことが謳われている。どのような形で実施しているか？

⇒ 英語資格試験は、6・10・1月の土日に希望者対象で英検（準2級・2級）を実施しており、各回20～30名が受験している。漢字検定は2級まで。1級は校内で実施していないので、外部で受験してもらうことになる。英検・漢検いずれも教員が監督をおこなっている。

***学校教育自己診断について**

○ 生徒回答結果において、「学校に信頼できる友だちがいる」「テストの得点だけではなく、生徒の努力や授業に取り組む姿勢などを考えて成績が付けられている」「興味・関心、適正・進路希望に応じて選べる選択科目が多い」「将来の進路や生き方について考える授業や行事がある」「進路についての情報をよく知らせてくれる」「クラスには話しやすい雰囲気がある」「自分は学校で清掃をきちんと行っている」「進路実現に向けて努力できた」「自分が決めた卒業後の進路に満足している」「総合学科で学んで良かった」といった項目で肯定的回答の割合が高かった。安全・安心な学校づくりに向けた学校の努力の成果といえるだろう。

○ 保護者アンケートの回収率が5割を切っている。より客観性のあるデータを確保する意味からも、少なくとも5割以上のデータが欲しい。生徒を通じてアンケートを配付する際、趣旨や意義について担任から説明することで保護者へ気持ちが伝わり、回収率がアップするのでは。

○ 生徒回答結果において、「授業では、自分の考えをまとめたり、話し合ったり、発表することがある」の肯定的回答率が3年次で下がっているが、原因として考えられることは何か？

⇒ 入試に向けた演習科目が多いことが少なからず影響していると考えられる。より主体的・対話的で深い学びの実現に向け、引き続き努力したい。

***施設・設備について**

○ 施設・設備については、改善の余地があると思う。建物自体の老朽化は致し方ないが、例えば正面玄関を入ったスペースが物置のように雑然としているので、整備をすれば印象が良くなるのではないか。教育委員会のバックアップを得られるような働きかけも考えていただきたい。

***地域連携について**

○ 算数が嫌いな小学生が多い。算数を勉強しなくても、スマホで解決できることが背景にあるようだ。小学生に限らず、中・高校生もスマホやゲームに依存してしまっている。そのことによって時間のゆとりがなくなり、却って時間に追われるような結果になっているのは残念なことである。そのような時代だからこそ、人間どうしの交流がより必要なのではないか。地域交流の機会をぜひ多く確保してほしい。

***異文化交流について**

○ AFS交流（交換留学生との異文化交流会）の参加生徒17名について、希望者13名以外はどのように参加を募ったか？

⇒ 特技のある生徒や部活動に対し、個別に声掛けをおこなって参加を募った。